

メモカス O44TW 留置方法 (硬性鏡による留置)

輸入・発売元
株式会社キースマック

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8

TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507

E-mail: info@kysmaq.co.jp

URL: http://www.kysmaq.co.jp

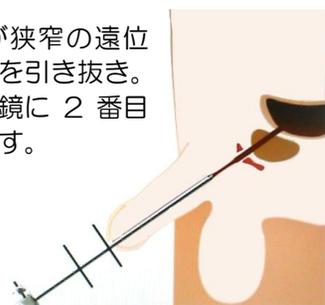
1 狭窄が強い場合ブジー等を用いて尿道拡張を行ってください。また狭窄が外括約筋の近くにある場合、狭窄の近位端と外括約筋との間の長さを測定して、メモカス拡張のための十分なスペースがあるかどうかを確認してください。



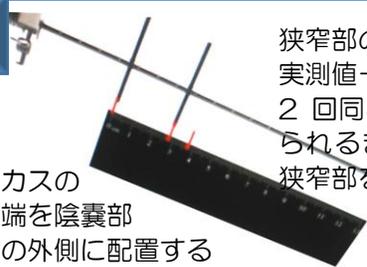
2 膀胱鏡が狭窄の近位端に達したら、陰茎の端に最初のクリップを置きます。



3 膀胱鏡の先端が狭窄の遠位端にくるまで膀胱鏡を引き抜き。陰茎の終わりの膀胱鏡に 2 番目のクリップを置きます。



4 狭窄部の長さ；実測値+10mm 2 回同様の測定値が得られるまで、繰り返し狭窄部を測定する。
メモカスの遠位端を陰嚢部尿道の外側に配置することを推奨します。そうしないと、患者に不快感を与える可能性があります。



5 膀胱鏡の光学視管と挿入システムを準備します。



挿入システムの端にある黒い固定つまみを静かに緩めます。

6 光学視管で挿入システムの芯棒を押し進め B 図のように見える所で固定つまみを締め付け固定します。



延長チューブを A 図のように 3 方活栓の水平ポートに取り付けます。(メモカス拡張用 55-60℃の生食液注入のため)

7 メモカスを挿入する直前に、尿道麻酔用ゼリー(キシロカインゼリー)で十分に注いでください。メモカスが尿道内の狭窄部よりも 5~10mm 上にあるまで、挿入システムを前進させ、狭窄部全体を覆う。



8 3 方活栓を回して、灌流液をオフにし、水平ポートを開きます。延長チューブを通して 50ml の 55-60℃の生食液をフラッシュします。流体がメモカスに達すると、メモカスの近位端が拡張します。



9 黒の固定ナットを静かに緩めます。光学視管の先端がメモカスの遠位端に来るまで、光学視管を挿入システム内に戻す。次に外側シースをしっかりと固持し、直視下で、光学視管と内側シースを慎重に引き戻します。



10 外側シースを抜き取りメモカス留置の終了です。膀胱鏡を挿入することによってメモカスの遠位部が正しい位置にあることを確認することもできます。または可能であれば、尿道造影を行い、メモカス位置を確認することができます。



メモカス O44 留置方法（腎盂バルーン使用留置方法）—X 線透視

1 メモカス O44 挿入用シース



腎盂バルーンを用いてメモカス挿入する場合、還流液を使用しないので三方活栓をはずして使用する事も出来ます。

2 10Fr 腎盂バルーンの挿入

メモカス落下に注意



シースの中の芯棒を絶対先に引き抜かないでください。

黒いツマミを緩め、シースの中の芯棒を押し出し、先端を 3,4cm 引き出してください。次に黒いツマミの方から 10Fr 腎盂バルーンを挿入して、芯棒を押し出し 2cm 程メモカス先端から出してください。

3 温水注入用チューブの取付け
温水；メモカス近位端拡張用



腎盂バルーンのカフをメモカスの径より若干大きめに膨らませ、バルーンを引き黒いツマミを締め付けます。三方活栓の付いていた所に温水注入用チューブを取付けます。

4 メモカスの挿入



メモカスを挿入する直前に、尿道麻酔用ゼリー（キシロカインゼリー）を十分に注入してください。（必要ならばガイドワイヤーを使用）メモカスが尿道内の狭窄部よりも 5~10mm 上部まで、挿入システムを前進させ、狭窄部全体を覆うようにしてください。同時にメモカス拡張用温水（55~60℃生食液 50ml）を準備してください。

5 メモカス留置、固定



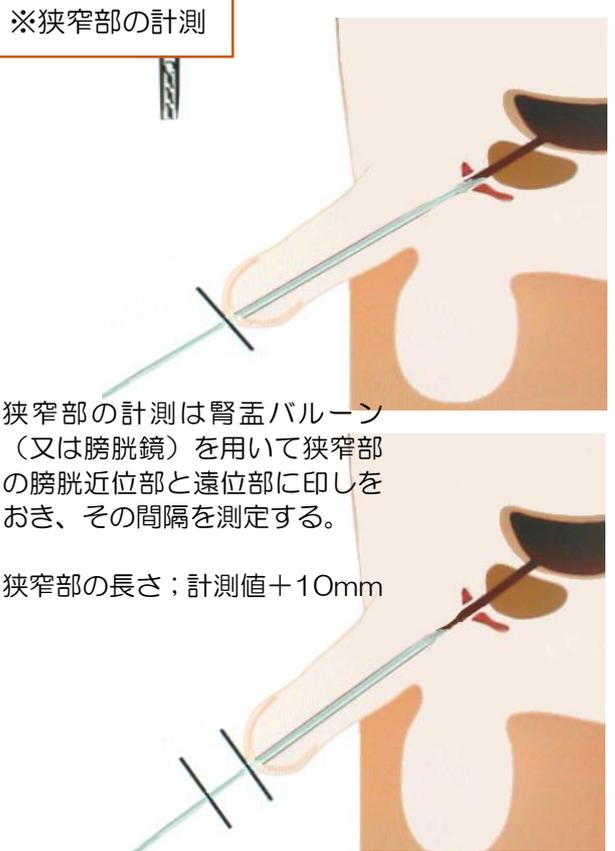
メモカス拡張用温水（55~60℃生食液 50ml）がメモカス近位端に行き渡るとメモカス近位端が拡張し、その位置に固定されます。

6 腎盂バルーン、シースの取出し



腎盂バルーンの液を完全にデフレートしてからカテーテルを抜去し、次に外側シースをメモカスの遠位端にあたる所でしっかりと固持し、内側シースを慎重に引き抜きます。

※狭窄部の計測



狭窄部の計測は腎盂バルーン（又は膀胱鏡）を用いて狭窄部の膀胱近位部と遠位部に印しをおき、その間隔を測定する。

狭窄部の長さ；計測値+10mm